

K.S.J. 香川県森連時報

KAGAWA SHINBEN JIHO
KAGAWA SHINRIN KUMIAI BENGOKAI.

27

平成29年1月発行(年2回(1月・7月))

謹賀
新年

新年のご挨拶

森は地球の財産です。

JForest



会長新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事会長 木村 薫



新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

また、本会の業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に開催されたりオデジャネイロオリンピックにおいて、日本は史上最高となる41個のメダルを獲得し、大いに勇気づけられました。イギリスのEU離脱問題や、アメリカ大統領選挙でトランプ氏が選出されるなど、政治、経済両面で、事前の予想を覆す結果となるなど、振り幅の激しい年となりました。

日本経済においては、ゼロ金利政策やアベノミクスによる成長戦略など政府、日銀が一体となって推し進められ、さらに昨年末にはアメリカの好景気に支えられ、株高、円安により日本経済はやや持ち直した感がありますが、地域経済においては回復を実感するには至っていない状況となっております。

さて、本県では、いよいよ全国育樹祭が開催される年となりました。全国育樹祭は、森林の大切さ、森林整備の重要性を全国からお集まりいただく参加者や県民の皆様々に理解を深めていただく絶好の機会であると考えております。

こうした状況のなか、我々森林組合系統においては、系統運動「JForest森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森林を活かして地域を創る～」がスタートしました。本運動では「効率的かつ安定的な林業経営による、組合員の経済的利益の向上」、「林業・関連産業の活性化による、地域社会の活力創造」、「森林の持つ多面的機能の高度発揮による、国民生活への貢献」の三つ柱を目標として推進してまいります。

特に、組合員・社会に信頼される開かれた組織づくりとして、コンプライアンス態勢を強化するため、コンプライアンス研修等を通じて役職員の意識・能力の向上を図ってまいります。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、組合員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

謹
賀
新
年

香川県森林組合連合会

代表理事会長 木村 薫

副会長理事 三角 正博

代表理事専務 道久 工

理事 有馬 督治

理事 松浦 可稔

理事 田中 邦男

理事 五所野尾恭一

代表監事 眞部 康寛

監事 安藤 憲章

監事 三宅 義明



報告 四国四県森連 会長会議開催

8月1日(月) JRホテルクレメント高松において、池本育利香川森林管理事務所長、大山智香川県環境森林部長、尾鷲一彦農林中央金庫高松支店四国営業部長、佐藤重芳全国森林組合連合会代表理事会長他多数のご来賓をお迎えし、四国四県森連会長会議を開催した。会議では森林環境税の早期実現など森林吸収源対策に必要な安定財源の確保や、森林整備事業に係る予算の確保など各県から提出された議題を中心に積極的な議論が行われた。

会議で出された意見や要望については要望書として取りまとめ、全国森林組合連合会に提出した。



報告 四国子どもとおとなの医療センターに 木製品を贈呈

本会と農林中央金庫高松支店は、病院を利用する子どもたちに木のぬくもりを味わっていただくため、善通寺市の「四国子どもとおとなの医療センター」に県産ヒノキで作られた靴箱やソファ等合計28点を寄贈し、10月15日贈呈式が行われた。同センターに木製品を贈呈するのは平成28年1月に続き2回目となり、贈呈式の後、同センターの中川院長からは感謝状が本会の木村会長に手渡された。また、この日は病院フェスティバルが開催され、本会も県産ヒノキのアクセサリづくりを体験するコーナーを設け、多くの来場者で賑わった。



報告 第2回森林組合長及び 参事・課長級会議開催

8月17日(水) 本会2階会議室において、松下芳樹みどり整備課長他をお迎えし、第2回森林組合長及び参事・課長級会議を開催した。会議では今後の森林組合事業展望などについて、積極的に議論が行われた。

報告 林業労働安全衛生 研修会開催

11月9日(水) 塩江町森林組合、10日(木) 香川東部森林組合、21日(月) 香川西部森林組合において、林材業安全技能師範 陶山芳伸氏、同宮本光芳氏を講師に迎え、林業労働安全衛生研修会を行った。研修会では昨年引き続き、林業・木材製造業労働災害防止協会が作成した簡易リスクアセスメント記録書に基づき、グループに分かれて危険性又は有害性の洗い出しや、その低減対策を検討し発表を行った。総勢120名余りの林業事業関係者が出席し、チェーンソー作業従事者については、振動特殊健康診断も行った。



報告 2016ウッドィ フェスティバル

10月8日(土)、9日(日)の両日、市内のイベント会場「サンメッセ香川」において、天雲俊夫香川県副知事、高田良徳香川県議会副議長、池本育利香川森林管理事務所長、五所野尾恭香川県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟副会長、新田耕造香川県議会環境建設委員長らを迎え、「香り豊かな香川のヒノキ」をテーマに「第29回ウッドィフェスティバル」が開催された。本会も香川県木材需要拡大協議会会員としてブースを出展し各種イベントを展開した。



報告 第61回香川県植樹祭・ 県民植樹祭inまんのう

11月13日(日) 香川県満濃池森林公園において、浜田香川県知事をはじめ、五所野尾香川県議会議員(香川県議会議長代理)他のご列席の下、第61回香川県植樹祭が開催され、カリンやウメを記念植樹し、記念育樹としてクスノキに施肥を行った。また、平成29年秋に本県で全国育樹祭開催されることを周知するため、各種ワークショップが開催された。本会も木村会長ほか多数の役職員が参加し、ワークショップにも県産ヒノキを使った体験コーナーを設け、多くの来場者に県産材のPRを行った。



報告 第40回 全国育樹祭

10月9日皇太子殿下ご臨席のもと、京都府南丹市の「府民の森ひよし」において「育樹の輪 ひろげる森と 木の文化」をテーマとして、第41回全国育樹祭が開催された。式典では前日に皇太子殿下が北山スギとシダレザクラをお手入れした映像が上映されたほか、皇太子殿下がお言葉を述べられた。アトラクションでは北山スギの枝打ちや丸太磨きが実演され、式典の終盤では、次期開催県知事のあいさつとして浜田香川県知事が挨拶を行った。香川県の森林組合からは総勢19名が出席し、次期開催県として会場の視察を行ったほか、普段顔を合わせることの少ない他森林組合の役職員が交流を深める良い機会となった。



報告 県知事及び 県議会に要望

12月5日(月) 本会と県内森林組合長会議は、低迷が続く林業情勢の中で育樹祭を契機とした森林整備の推進、里山再生の推進、県産木材・里山資源の利用促進について、浜田香川県知事並びに黒島香川県議会議長に要望書を渡し陳情を行った。



報告 中央公園 清掃活動

12月10日(土) 本会をはじめとする県内の11団体で構成する「かがわ協同組合連絡協議会」は、高松市の中央公園で清掃活動を実施した。同協議会は協同組合の価値や社会における役割を県民に認知してもらい、連携して新たな価値を創出することを目的に平成25年6月に設立されたもので、総勢約50名が参加、同公園や周辺の歩道の清掃を行い、本会からも多数の職員が参加した。同協議会による清掃活動は3回目で、使用済み切手を回収し香川県ユニセフ協会に贈呈するなどの活動も行っている。



特集 さぬき空港公園便り

本会がさぬき空港公園の指定管理に取り組んで、早くも5年目となりました。この5年間、様々なイベントを開催し、来園者の利便性の向上、公園のPR活動に努めてまいりました。その成果もあり、平成27年度には、本会が指定管理を行う前と比較し、総来園者数で26%の増加、グラススキー場での利用料金で76%以上の増加を達成することができました。

また、イベント広場では、グランドゴルフ大会やスポーツ少年団等の定期的な利用により大幅な利用件数の増加がありました。

特に平成28年度は、初めて公園周辺の幼稚園の運動会が開催され、大変な賑わいを博しました。

本会のこれまでの実績と今回の提案が高く評価され、引き続き指定管理者に選定していただきました。

今回の提案ではこれまで実施してきたものに加え、新規の利用者サービス向上策として、以下の提案を行いました。

- ・利用者相談窓口の設置や利用者アンケート等を実施し、利用者の要望を把握・分析し、管理運営の改善を図る。
- ・緑のカーテン教室、星空観測会、落ち葉プールなど自然に親しみ、ゆとりとうるおいを感じるイベントを開催する。
- ・障害者森林セラピー体験会、視覚障害者も参加できるグランドゴルフ大会、国際交流ポカール・マウンテンカート大会など、障害者や外国人が参加しやすいイベントを開催する。
- ・新たなスポーツアイテムであるマウンテンカートを導入し、公園利用の促進を図る。

これらの提案を実現するための準備を行い、より多くの方に公園を楽しんで頂けるように鋭意努力してまいり所存です。

それでは、平成28年度に開催した主なイベントについて紹介をさせていただきます。

例年開催している「真夏の雪遊び・夏休み宿題応援団」は、天候にも恵まれて多くの方々に参加して頂きました。イベント当日の公園来園者数は、1,484名で、初めてイベントに参加される方が多かったようです。特にNHK高松放送局の取材があり、その日の正午のニュースでイベントが報道され、そのニュースを見て来られた方々が多くいらっしゃいました。この他、夏休み等には、噴水のイベントや公園内散策型のオリエンテーリングを開催しました。噴水のイベントは、渇水の影響で噴水の稼働が止まっていたことと、今年の夏が大変な猛暑であったので、少し参加者数が少なくなりましたが、オリエンテーリングでは、



当初の予想を大幅に超える88名の方に参加して頂きました。

10月に開催した、一輪車教室も好評で21名の方に参加申し込みをして頂き、今後も開



催してほしいとのご要望を多くいただきました。

グラススキー感謝祭では、世界大会優勝経験者の新谷起世プロのレッスンを開催し、グラススキーが初めてのお子さんもグラススキーを楽しんでいらっしゃいました。また、公園スタッフのグラススキー指導能力向上のため、同プロにスタッフを対象とした特別指導をして頂き、グラススキーの滑り方の種類や指導の手法などを教わりました。プロにご指導いただいたことにより、スタッフのグラススキー指導能力が格段に向上したと感じております。



今年度最も盛況であったのは、12月に開催した健康ミニマラソンで、参加者の要望により過去開催した3回の中で最も規模を大きくし、より多くの方に楽しんで頂けるようにイベントを計画しました。参加者定員は、過去最大の200名としましたが、総勢197名の参加申し込みをいただきました。イベント当日は、あいにくの強風と寒さでし

たが、寒空にも負けることなく、小学校1年生から60代の方まで皆さん楽しくマラソンをして頂き、公園の良さを満喫していただくことができたものと感じております。

今年度もあと僅かですが、公園では3月にウォーキング大会の開催を予定しています。公園内の園路で2~4kmのウォーキングコースを設置し、健康増進のため公園内の散策をして頂くよう考えています。サクラの開花時期が早ければ、サクラの中をウォーキングしていただくことができたかと考えています。また、公園の花見は、毎年多くの方々に来て頂いており、今年の花見時期にも開園時間の延長を計画しています。延長の時期や期間は、サクラの開花予報や開花状況を考慮して、ホームページ (<http://sanuki-airport-park.com>) やその他の広告媒体でお知らせします。



よく公園を利用していただいている方のご意見で、強く印象に残る話題がありますので、少し紹介させていただきたいと思います。

その方は、絵を描くことを趣味にされており、特に空を描くことが好きなのだそうですが、空港公園は広く空を見渡すことができる、県内でも他に類を見ない場所であるとのことでした。

そういったご意見を拝聴し、公園を管理する者にとってうれしく感じると同時に、様々な角度で公園を管理する視点を持たなければならないと痛感した次第です。

最後になりますが、この5年間、関係各位の多大なるご支援、ご協力により公園管理を行うことができたことに深く感謝するとともに御礼を申し上げます。次期5年間も引き続き本会が指定管理を務めさせていただきます。これからもスタッフ一同公園の適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んで参りたいと存じますので、これまで同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

